



現場第一主義! 横浜市議員 (旭区選出) **やすひろ**

横浜市・旭区のために
全力でがんばります!

2008年9月
September



かがゆ康弘 市政報告

〒241-0821 旭区二俣川1-5(事務所)

TEL(FAX)・・・366-9381 メール・・・info@kogayu.net

<http://www.kogayu.net>

かがゆ

検索

市民の声を届けます!

民主党横浜市議員団では毎年、翌年の横浜市予算の策定前に、
予算要望書を市長宛に提出し、市民の声を「カタチ」にしています。
現在、要望書作成の真っ最中です。皆様の声(要望)をぜひお寄せ下さい!

昨年の(平成20年度予算に対する)予算要望書の内容(一部)と区・局の回答

項目	要望書の内容	区および局の回答(平成20年3月)
都市基盤の整備 交通利便性向上	坂本鶴ヶ峰線の鶴ヶ峰第2踏切(鶴ヶ峰駅西側踏切)の立体交差化は、多くの区民が切望していることでもあり、最優先で整備を行うこと。	当該踏切の立体交差化については、踏切に近接して計画されている坂本鶴ヶ峰線の整備や鉄道の立体化も含め、総合的な踏切対策の検討が必要と考えています。
	神奈川東部方面線については、工事の進捗状況を区民へ積極的に開示し、広く市民意見を取り入れるとともに、工程管理を徹底すること。	実施にあたっては事業者と連携して地域の方々に工事内容を十分に説明するとともに、工事の進捗に応じて適切な調整を行い、着実な事業進捗を図ります。
	鴨居上飯田線、希望ヶ丘瀬谷線、白根通りの未整備地区については、整備促進に向けて都市計画道路網の見直しと平行して鋭意進めること。	事業未着手区間については、都市計画道路網の見直しの状況を踏まえ、現在事業中の路線の進捗状況も見ながら効率的・効果的な整備について検討します。
福祉の充実 安全・安心の実現	旭区内の特別養護老人ホームの増床を図るとともに、在宅介護を支える小規模多機能型介護施設を区内に早急に整備すること。	特別養護老人ホーム・小規模多機能型介護施設については、着実に整備を進めてまいります。
	福祉施設などが多数存在する二俣川駅周辺地域は、障害者の歩行の妨げとならないよう、違法駐輪・駐車監視を強化すること。	二俣川駅周辺の放置自転車等については、移動活動を強化するとともに、引き続き自転車等放置防止監視員を配置し、利用者への啓発活動を強化します。
	歩きタバコ・ポイ捨て防止に向けて横浜副都心である鶴ヶ峰・二俣川の両駅周辺を喫煙禁止地区に指定し歩行者の安全を確保すること。	喫煙禁止地区の追加および拡大については、「横浜駅・桜木町駅・関内駅周辺」の3地区の効果の検証及び公表を行いながら、順次実施してまいります。
環境	帷子川の美化活動への更なる支援を行うとともに、鶴ヶ峰駅周辺の堰には魚類の遡上を可能とするための魚道を整備すること。	鶴ヶ峰周辺の落差工部分への魚道設置については検討します。(平成21年度から24年度(予定)にかけての整備が決定しました!)

市民の視点から。

旭区にお住まいの多くの方々が、「ここを変えてほしい!」「この点が不便だ!」などのご意見をお持ちです。多くの区民の皆様が望んでいることを、わたしたち議員が市に対して要望し、来年(平成21年度)の横浜市予算として予算化することで、実現することが出来ます。

ぜひ多くの方の声をお寄せ下さい!

予算要望書 作成・提出スケジュール

～9月26日:内容の精査・要望集約

9月30日:最終案作成

10月10日:市長宛提出

(来年3月末頃回答)



皆さんの声で、市政をそして生活を変えることができます。

新型インフルエンザに備えよう!!



<パンデミックに備え、私たちも横浜市と協働で予防対策の充実を!>

新型インフルエンザとは?

新型インフルエンザとは、もともとトリなどの動物に感染するインフルエンザウイルスがヒトにも感染するようになり、更にヒトからヒトへも感染しやすく変化した全く新しいインフルエンザです。

人口の約4分の1が感染するといわれ、短期間で多くの患者が発生し、死亡者も多数に及ぶなど大きな健康被害が予想されています。

パンデミックとは?

新型インフルエンザウイルスは感染力が強く(1個のウイルスが24時間後には100万個に増殖)誰も免疫を持たないため、ヒトからヒトへ感染が広まると、世界中で大流行が起こります。これを「パンデミック」と呼びます。パンデミックは世界中でほぼ同時に発生するため、輸出入のストップやライフラインの停滞など、市民生活に大きな影響を与えるといわれます。

もし国内で発生したら?

発生状況についての正確な情報をより多く収集しましょう。そして、まずは**感染予防**。

特に必要の無い場合は外出を控える。やむを得ず外出する場合はマスク着用とうがい・手洗いを。水分を十分にとりバランスの良い食事と体温測定。もしも**発熱した場合**は…。

急な発熱・咳などの症状がある場合、「発熱の専門外来」の受診を。まずは福祉保険センターに連絡を。(旭区福祉保健センター: 954-6146)

発生に備えてすることは?

必要な備品の備蓄

電気、水道、ガスなどのライフラインの停滞に備えて、食べ物や生活必需品などを2週間分を目安に備蓄しましょう。

(長期保存のできる食糧、緊急備品、医薬品・日用品等)

また、ご近所の皆さんとも発生時の対策などについて話し合い、高齢者・障害者などの要支援者の方々も準備が出来るよう声を掛け合うことが大切です。

横浜市の対応は?

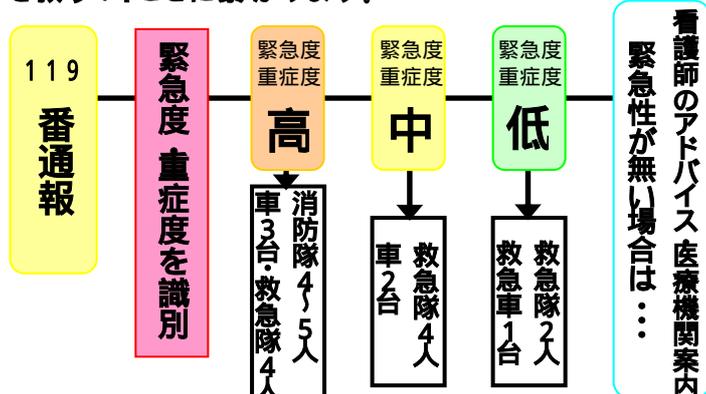
横浜市は人口が集中する首都圏であり、国際的な港や羽田空港、鉄道など高速移動手段も存在するため、短期間にウイルスが蔓延することが想定されています。そこで、横浜市では、「新型インフルエンザ対策推進会議」の開催や保健医療体制の整備、国に対する要望書の提出などを行っています。しかし、市民への啓発不足など事前の感染拡大防止策は十分とはいえません。

民主党横浜市議員団の対応は?

新型インフルエンザ・パンデミックは現在、いつ起きてもおかしくない状況にあります。民主党横浜市議員団では独自の勉強会を開催するとともに、議会活動を通じて予防対策への財源確保や抗インフルエンザ薬の備蓄、市内企業への啓発など、より実効性のある対策を求めています。感染力・致死率ともに高い新型インフルエンザはもはや「災害」です。防災の観点から市民の命・財産を守るために取り組んでいきます。

新しい救急システムがスタートします!

横浜市では、10月1日から「横浜市救急条例」に基づき、119番通報による救急要請への体制を見直し、国内初の新たなシステムを導入します。下図のように、119番通報時に緊急度や重症度を識別し(トリアージ)その緊急度・重症度に応じて救急隊員や救急車・小型車の数を増減させます。これにより、限られた人員を効率よく活用でき、救急要請への迅速な対応が可能となるため、「救える命を救う!」ことに繋がります。



<問い合わせ> 横浜市安全管理局救急課 334-6773

今後の議会日程(決算特別委員会)

- 9月19日(金): 第1委員会から順次開催
- 9月26日(金): 第1・第2委員会の連合審査会
- 9月30日~10月14日
第1・第2委員会それぞれ局別審査(10:00~)
- 10月15日(水): 第1・第2委員会 採決

こがゆ康弘プロフィール

経歴

- 昭和42年 横浜市鶴見区に生まれる
- 平成4年 早稲田大学大学院修了
- 平成18年 横浜市議旭区補選で初当選
- 平成19年 横浜市議選挙で2期目当選

気軽に
ご相談
下さい!

市政に対するご意見・ご要望
をお待ちしております!

連絡先

住所: 旭区二俣川 1-5(事務所)
電話(FAX): 045-366-9381
メール: info@kogayu.net

